

徳島県立みなと高等学園学校運営協議会  
令和5年度 第3回会議 <議事録>

日 時 令和6年3月8日（金）  
午後3時30分から4時30分まで  
場 所 みなと高等学園 校長室

(1) 開 会

(2) 出席委員

社会人講師	長池 良文
就労・実習関係	庄野 忠雄
学校(PTA 会長)	西村 和代
学校(校長)	佐尾山 秀樹

(3) 学校長挨拶

(4) 協 議

① 地域との連携や本校の活躍やPRについて（教頭より）  
全委員から承認された。

② 学校評価について（教頭が説明を行い、委員から以下の質問があった）

- ・人権教育の推進では、人権教育研修会を行事と一緒に行えば参加者増えるのではないか。
- ・キャリア教育の推進に関して、一般就労、就労継続支援 A 型と B 型の人数はどのくらいだったのか。
- ・個別の指導計画の効果的な活用に関して、みなトークの研修はどのようなものだったのか。
- ・センター的機能の充実に関連して、発達障がいのある人を雇用した場合、企業はどのような支援をしていけば良いのか。
- ・特別活動の推進では、地震津波火災訓練は行われているが不審者対応訓練は行われているのか。

（学校より）

- ・人権教育研修会は今後、行事と併せたり日時を工夫するなどして、検討していきたい。

- ・卒業生 24 名の内、一般就労、就労継続支援 A 型併せて 18 名で 75 % であった。就労継続支援 B 型と就労移行支援が 6 名であった。
- ・ポジティブな指導や、わかりやすい指示・説明について演習や実技を交えた研修を行ったり、進路指導や授業における ICT の活用等の研修を行った。
- ・本校はハナミズキと連携し、企業ネットワーク会議の中で発達障がいの方に対する支援の方法についての研修を今年度行った。次年度もハナミズキと連携して行う予定である。本校の卒業生は進路パスポートを持っているので、支援の方法などは進路パスポートを参考にしていきたい。
- ・地震や火災、津波や不審者の対応マニュアルは作成しているが、不審者に対しての訓練は行っていないので今後、検討していきたい。

など御意見をいただき、全委員から承認された。

### ③ 各委員からの提言等について

- ・ 6 次産業化で小松島の特産であるヤマモモを使った 6 次産業はどうか。ヤマモモのジャムなどの製品を開発してもよいのではないかと思う。
- ・ 技能検定や資格取得に関して、国家資格であるビルクリーニング技能士 3 級の資格を取得させてみてはどうかと思う。などの御意見をいただいた。

### (5) その他（事務連絡）

来年度の学校運営協議会委員について、本日参加していただいている委員の皆様に来年度の委員の継続をお願いし、委員の皆様にご了承をいただいた。

第 1 回学校運営協議会の予定について、令和 6 年 5 月下旬を予定。

### (6) 閉 会